

2020/12/6 (日)

神奈川県ホッケー協会令和2年度第1回理事会議事録

1. 日 時：2020年12月6日(日) 18:00～19:19
2. 会 場：Zoom 会議室
3. 出席者：齊藤 (アレッサ)、和田 (ブルーウィングス)
竹内、木下、大宅、寺田 (記)
委任状4名

4. 理事長挨拶

県協会活動及び理事会も併せ空白期間を作ってしまった事、お詫び申し上げます。
その不活発な活動状況下、今回の議題に挙がっている様な問題を発生させてしまいました。
それらの状況報告とお詫びを申し上げる会に今回はならざるを得ないが、これをきっかけ
にむしろ前向きに協会のあり方を変えて行ける話し合いになればと思っておりますので、
宜しくお願い致します。(寺田)

5. 議 事

- 出席人数の確認：・当日出席者6名
・委任状提出4名
10名/17名となるので会則第14条4項の規定に基づき2分の1
(9名)以上の出席により開催成立となった

1) 県高校選抜での問題発生事案について [報告事項]

*発生事案について説明(木下)

*高校生の大会をやる時にジャッジ資格者の派遣は従来から成されているのか?

今回たまたまメンバーが揃わなかった事により発生したトラブルか?(齊藤)

⇒これまではルール通りに派遣がなされておらず、事実としてジャッジは有資格者の
派遣はしていなかった。但しTOは競技部長(竹内)、審判は審判部長(木下)がニ
ュートラル派遣手配を行っていた。(木下)

⇒他県はジャッジも必ず有資格者で実施しているのか?(齊藤)

⇒その通り(木下)

⇒去年開催予定の神奈川での国体予選のためジャッジ資格を取った人が複数いた。

そういった方にも機会を作ればよいと思う(和田)

2) 1)の改善案について

*改善案3点の説明(木下)

*競技役員育成・派遣計画説明(竹内)

ジャッジ有資格者人数4名+2名(昨年度取得)、TO1名(竹内)、審判D級2名

* 審判講習会を実施するにあたり受講経験者として必要と感じた援助などはあるか
(木下)

⇒申請料など金銭的な援助は大事だと思う (和田)

⇒申請料3,000円はともかく、講習会は二日に渡るため宿泊費が発生した場合、
そこまでの援助は厳しいと思う (大宅)

⇒東京周辺での大会で受講できれば宿泊費は掛からないので、原則として講習会受講
の案内は宿泊費が発生しないような東京近郊での開催時とする (竹内)

* 予算化については既有資格者または取得希望者のどちらへの援助を想定しているの
か? (木下)

⇒人数を増やしたいので、取得希望者への援助と考えている。

* ジャッジ有資格者数を増やすとの事だが具体的な目標数字はあるのか? (寺田)

⇒+4-5人 (人数が多ければ、それだけ機会が増えるということもある)

勿論、講習会をどの程度開けるかにもよるが。 (竹内)

* 今の状況下ジャッジ講習会をやろうという動きが周囲にあるのかは疑問(大宅)

* 全ての案件に共通する事だが関係者の出席が少ない事が気になる。関係者がその場
に居なければ、計画も工夫も成り立たないので、そこから整備していくべきだと思う。
今回の未登録問題はかなりの重大事であり、Zoom という環境を整えもしているので、
出席マストというやり方でもよかったと思う (齊藤)

⇒本日の開催日時については、日曜夜ということで出席が難しいタイミングであった
かもしれない。その辺りも含め今後改善検討して行きたい。 (木下)

2) 令和元年度総会について (追認案件)

[議決事項]

* コロナの影響下、5-6月は丁度外出自粛期間だったこともあり、従来型の会議室での
総会は開催出来ず、そのまま持ち越しとなっていた。

今にして思えばこうしてZoom開催が出来ているので工夫が足りなかった点、お詫
び申し上げますと共に改めて確認、追認願います。 (寺田)

* 総会と理事会の違いについてよくわからない。 (齊藤)

⇒総会と理事会で構成メンバーは変わるのか? (木下)

⇒構成員が少ないという事もあるが、おなじメンバーで実施している (寺田)

⇒総会は予算決算など定まった決議事項があると認識している (大宅)

⇒会則での開催成立要件について、総会 (3分の2) および理事会 (2分の1) の説明
(木下)

⇒了解した (齊藤)

* 県補助の一般強化費をこれまでは練習会の交通費として使っていた経緯があるが、
これを大会開催費用に充当するというアイデアを持っているが、どうか? (木下)

⇒以前から神奈川県リーグを開催すべきと動いている。三年ほど前に一度開かれたき

りなので、また是非実施はして頂きたい。そういった試合開催のための原資（グラウンド使用料など）の確保の仕方を工夫できるのであればよい（齊藤）

⇒国体チーム編成のための人数集めの場として、神奈川リーグは有効と思う（和田）

*補助金は限られるので、その場合従来支払われていた国体練習会等への交通費は無くなることについては問題ないか？（木下）

⇒5大市大会で大阪へ行く等、遠征を伴う場合には厳しいが、近場での活動を充実させ、かつ充実させるための費用の使い方であれば問題無いと思う（齊藤）

*県補助金について予算に挙がっていないが本年度に関しては無いということか？

（齊藤）

⇒補助自体をもらっていないので、無い（寺田）

⇒補助金自体は補助＝出費という構造なので予算には従来から入れてはいない。

今年度に関しては補助金自体が出ていないので、使い道を考えるという点についても来期以降の扱いとしている（木下）

*予算案の支出項目の県協会運営・企画管理・予備費は、収支決算書の項目ではどれに該当するのか？（齊藤）

⇒その他諸経費に該当する。（木下）

⇒理事会資料の郵送費などがなくなるので、Zoom活用は良いと思う（和田）

⇒諸費用：会議室費用がZoomとなり、日本協会登録料振込手数料はチーム毎での対応となったため、共に減る方向になると思う（大宅）

⇒こういう風に浮いていく費用を今後どう使っていくか、補助金の使い方等含めて今後、理事会で図って行きたい。（木下）

6. 閉会挨拶

本日はお忙しい中、お疲れさまでした。

不活発な協会活動や諸問題を反省する中、色々ご意見、ご提案を頂けて良かったと思っております。

空白後の理事会でまだまだ中（関係するチーム）の皆様がこちらを向いていない状況である事は重々承知しているので、今後またZoom環境で参加しやすく、また規約では4半期1回程度となっている理事会の頻度を増やすなどしてこちらからメッセージを発信出来るようにしていきたい。

また竹内先生のお話しにもありましたが、東京協会など近隣との連携についてもジャッジ講習会以外の諸活動、すぐには出来るかどうかだが大会の共有なども視野に入れ、内を固めつつ外に開ける協会を今後は目指して行きたい。

今回お集まりの皆様には出来れば核となって頂き、構成メンバーを増やしていければと思っておりますので宜しくお願い致します。（寺田）

以上